

by TOMOE OKU
digital works by HIDEKUNI SHIDA
©TYPE-MOON・ufotable・FSNPC

## 遠坂凛

名門・遠坂家の当主。今回の聖杯戦争では勝利のみを目的とする。一級の魔術師でガンドと宝石魔術を得意とする

## 衛宮士郎

遠坂と共に聖杯戦争に参加した見習い魔術師。養父・切嗣の理想を継いで「正義の味方」をめざす。未熟なものの、「強化」の魔術を駆使する

# 静と動の調べ

日常では同じ学校に通う同級生。
しかし、聖杯戦争では殺し合う敵同士。
第一級の魔術師・遠坂凛
見習い魔術師・衛宮士郎
2人の魔術師のコンビはいつしか
戦いの中心に導かれていく——

## 2015年3月25日 Blu-ray Disc Box Ⅰ

早くも、「Fate/stay night [UBW]」のBD BOXの発売が決定。全6枚（本編5枚＋サウンドトラックCD1枚）。映像特典や特製ブックレット、武内崇描き下ろしBOXなど充実の内容だが、さらにスペシャルな特典が！ なんと奈須きのこが初めて書き下ろす小説「Fate/stay night」（イラスト：武内崇）が同梱される。10年目にして初の試み。これは読まずにはいられない！

### レンタルは11月26日より毎月リリーススタート

レンタル版DVDもリリース開始。第1巻は#00「プロローグ」TV未放送版も含むオリジナルエディション版を収録

## 「助けられるものならすべて助けたい」という思い

衛宮士郎役 杉山紀彰

●すぎやま・のりあき／3月9日生まれ。A型。東京都出身。アクセルワン所属。代表作に「NARUTO」サスケ、「黒執事」ウィリアム・T・スピアーズなど

### 今まで見えなかったキャラクターの心情

—これまで杉山さんは「Fate」シリーズでさまざまな衛宮士郎を演じてきていますが、今回の「Fate/stay night」の衛宮士郎はどんなキャラクターだとお考えでしょうか。

杉山　今回は「その原点」の士郎ですね。10年前の〈第四次〉聖杯戦争のときに衛宮切嗣に助けてもらい、そんな切嗣にあこがれているところからスタートしています。ただし切嗣と士郎のめざしている理想は少し違っていて、切嗣は「助けられる者を選択して助ける」という現実的な正義をめざしていますが、士郎は「助けられる者ならすべて助けたい」と思っている。そのギャップの中で揺れ動くキャラクターですね。もちろん彼は理想を追い求めることが現実的には難しいとわかっているんだけど、どうしても割り切れない。それはいい意味で「若さ」の表われだなと思います。

—そんな士郎は遠坂凛とともに聖杯をめざします。2人の関係をどうとらえていますか。

杉山　ゲームの地の文で書かれているんですが、もともと士郎は凛のことを女性としてひかれているところがあるんですよね。最初はあこがれみたいな感情だったんだと思います。そこから聖杯戦争に参加し、距離が近くなっていく。聖杯を求めているけれど、人の道を外れることはしたくない、その価値観の近さが2人を特別な関係にしているんじゃないかと。#00と#01で士郎は「早いんだな、遠坂」と話しかけているんですが、アフレコのときに原作の奈須（きのこ）さんから「もっとひとり言を言うみたいにしてください」と指示をいただきました。「べ、別に声を掛けたんじゃないやい！」くらいの士郎の気持ちが、いかにも思春期っぽいなと思いましたね。

—今回、改めて収録をしてみて新しさを感じたところは？

杉山　今回はセリフの中に、ゲームの地の文で書かれていたものが織り込まれていたりするんです。新しい部分とこれまでの「らしさ」が溶け合っているところがありますね。

—そんな杉山さんが今回これから楽しみにしていることは？

杉山　やはり中盤以降の戦闘シーンですね。中盤以降は激しい戦いが連続していくので、楽しい日常は前半に思いっきり満喫してほしいです。



「ねぇ、お話は終わり?」イリヤ

↑士郎を待っていたのはセイバーだけではなかった。小さな少女が話しかける、そのひと言は戦いの火蓋が切られた合図。聖杯戦争が、始まる





←なぜか教会に入ることを拒んだセイバー。聖杯戦争を知った士郎は改めてセイバーと共闘の握手を交わす



←教会を出た凛と士郎はそこにただならぬ気配を感じる。それはサーヴァントであるセイバーも同じだった



「喜べ少年。君の願いはようやく叶う」綺礼



↑急に「聖杯戦争」「サーヴァント」と言われても、士郎にとってセイバーは可憐な女の子で……

## 開幕の刻 #02

脚本：佐藤和治　絵コンテ：笹嶋啓一
演出：[illegible]　作画監督：石塚みゆき、青木拓也、藤崎静香

#00と#01の翌日譚。士郎を助けるため現われたアーチャーに斬りかかるセイバー。そのセイバーを令呪で止めた士郎は、アーチャーとともにいた凛と一時休戦。お茶を飲みながら聖杯戦争の概要説明を受ける士郎。2人は言峰教会へ向かい、今回の聖杯戦争の監督役である言峰綺礼に出会い、士郎はマスターの認定を受ける。綺礼が士郎に聖杯戦争のルールを解説するシーンなどは「Fate/Zero」を思わせる。本格的な戦いはこれからだ。



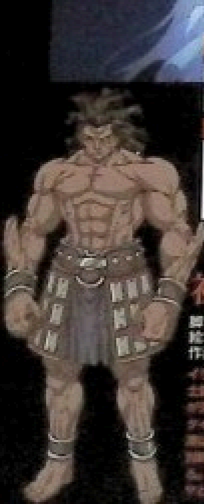
↑聖杯戦争の何たるかを士郎に説く綺礼。教会でひとり、誰かを待っているようにも見える

■監督役
**言峰綺礼**
[illegible]



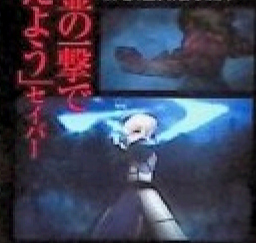
■マスター
**イリヤスフィール・フォン・アインツベルン**

■サーヴァント
**バーサーカー**
[illegible]



「全霊の一撃で応えよう」セイバー

↓名乗りを上げることも、語り合うこともなく戦うバーサーカー。ただ、正面の敵に進むのみ。交わる刃でしかかかわれないのであれば、己の全力で向かうのみ！



「口元が[illegible]聖職者」

←まるで古い知り合いのように綺礼と語り合う金髪の青年。どうやら彼もこの冬木の聖杯戦争を知っているようだが……



↓弓兵の能力を生かし遠方から戦いを見守るアーチャー。最後の一撃は彼によってもたらされた。そして、最後の笑みはいったい？

「みごとだ。だが、それでは足りん」アーチャー

「ここで死ぬ[illegible]と言うのかしら？」イリヤ

↑毛髪を媒介にした使い魔を操るイリヤに苦戦する凛。鳥の形をした使い魔は時として刃にも変化する。勝利を疑わない自信に満ちたイリヤの表情



↑平均な能力では他の六騎を同時に相手ができると言われるバーサーカー。戦いは、ここに始まった

## 初戦 #03

脚本：佐藤和治、一ノ瀬樹
絵コンテ：三浦貴博　演出：恒松圭
作画監督：須藤友徳、碇谷敦

[illegible]



## [illegible]動の調べ



↑←[illegible]、士郎の日常を個性豊かな人物たちが彩る



「そんなっ違いますっ」桜

→夕飯の手伝いにこられなくなった桜。何気ない士郎のひと言にむきになって言える桜がかわいい





←#00の同じ流れのシーンを士郎からの目線で追い掛ける。逃げる凛をそっと目で追う。でも、決して[illegible]わけではないことば

「朝、早いんだな、遠坂」士郎



「誰かを救うということは、誰かを助けないということ」切嗣

←かつて「正義の味方」をめざし、理想と現実の間で葛藤した切嗣。最小の犠牲で最大を助ける……その理想は彼自身を苦しめるものだった



■マスター
**衛宮士郎**

■サーヴァント
**セイバー**
[illegible]

## 冬の日、運命の夜 #01

脚本：佐藤和治　絵コンテ：野中卓也
演出：野中卓也
作画監督：茂木貴之、佐藤哲人

衛宮士郎視点で描かれる聖杯戦争の開幕。[illegible]士郎は放課後にランサーとアーチャーの戦いを目撃してしまう。凛に命を救われるシーンなど#00とのリンクが見どころ。ランサーに追撃された士郎は強化の魔術で対抗するも、死が迫る寸前でセイバーを召喚。セイバーとランサーの戦闘シーン、ランサーの宝具使用など映像の迫力が圧巻。

←10年前の消えかかった魔方陣から呼び出されたセイバー。「衛宮」という単語にひっかかりつつも、士郎をマスターと認めともに戦うことに

「エミヤ……」セイバー

## プロローグ #00

脚本：佐藤和治
絵コンテ：三浦貴博　演出：三浦貴博
作画監督：須藤友徳、田畑壽之

[illegible]



■マスター
**遠坂凛**

■サーヴァント
**アーチャー**
[illegible]

↑時間がずれて不完全な召喚のため、屋敷に召喚されたアーチャーと凛は意外にいいコンビに



「今の、あいさつのつもりなのかな」凛

←早朝の校舎で生徒会長の[illegible]頼みごとをこなす士郎と出会った凛。少しの会話の後、背中越しに凛に届いた士郎のことば

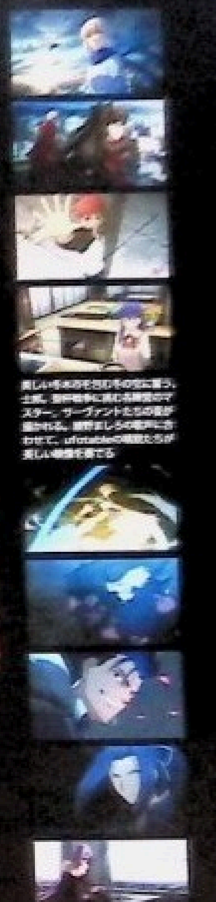


「なんだよ、消しちまうのかもったいねえ」ランサー

■マスター
**？**

■サーヴァント
**ランサー**
[illegible]





# 前向きな歌詞を今の自分に重ねて

## あこがれから現実へ 新しい歌姫の誕生

——メジャーデビュー曲がテレビアニメ『Fate/stay night』のオープニングテーマに決まったときの感想はいかがでしたか？

綾野 「本当ですか!?」と言葉がすぐには出てこなかったです。『Fate』は前のアニメ作品も観ていましたし、『Fate/Zero』もずっと観ていましたし。私は藍井エイルさん（『Fate/Zero』ED曲「MEMORIA」でメジャーデビュー）にあこがれてアニソンの世界を知ったんです。『Zero』はダークなところや登場人物の濃いドラマが好きなんです。物語に遠坂凛ちゃんのツンデレなところが好きで、今回、（遠坂）凛ちゃんのストーリーだと聞いて、わくわくしていました。

——楽曲の印象はいかがでしたか？

綾野 疾走感があって力強く歌えそうな曲だなと思いました。レコーディングをするときにまだ歌詞が全部できていなくて、その場で作詞のmeg rockさんにつくり上げていただいたんです。その場で作詞家のこさんに連絡をとり、確認しながらここで歌っていく、みんなで一丸となってつくった曲なんです。東京でレコーディングをするのは初めてだったので、こういうケースもあるんだと、ありがたい経験でした。

——「ideal white」は「理想の白」。出来上がった歌詞の感想は？

綾野 衛宮士郎のみならず、いろいろなキャラクターの想いが入っている歌詞になったと思っています。サビの「しろく、しろく」というフレーズには、私の「ましろ」という名前も重ねられていて、綾野ましろの誕生をも感じさせる前向きな歌詞だなと感じました。私は歌うときに色を頭の中にイメージしていることが多いんですが、「ideal white」はちょうどジャケットのような「青みがかった白」のイメージを思い浮かべながら歌っています。

——今後、めざしているものは？

綾野 私は音楽によって人とつながり、自分の居場所を見つけたんです。私もそうやって、私の歌で誰かの居場所をつくれる人になりたいなと思っています。

オープニングテーマ
**ideal white**



# 綾野ましろ
MASHIRO AYANO



# せつなさのなかに静かな強さを歌声に込めて

## 物語にリンクして伝わる歌詞のメッセージ

——16枚目のシングル「believe」の印象をお聞かせください。

Wakana（以下、W） 神秘的なイントロから、ギターのロックなフレーズが入るギャップが、すごくかっこいいなと思いました。きっとライブで盛り上がる一曲になるなと思いました。

Keiko（以下、K） Wakanaの声をのせたところを想像しましたね。せつないなかに静かな強さをもった曲だったので、ハーモニー成分ももちろんあるんですが、割とシンプルにメインメロディーだけでもパワーのある楽曲だなと思いました。

Hikaru（以下、H） とても真っすぐな楽曲だと思いました。受けるメッセージがシンプルな分、強さを感じられる気がします。物語が進むにつれてこれからもっと深まっていくであろうアニメーションとのリンクも楽しみです！

——コンポーザーの梶浦由記さんからどんな説明がありましたか？

W テンポが思っている以上にゆったりだということ、そしてそのリズムのなかでどれだけゆったりと声を響かせられるかがポイントだということを、お話ししてくださいました。

K 『Fate/stay night [UBW]』のために書き下ろした楽曲なので、歌詞のメッセージは作品に寄せた内容になっているとうかがいました。

H 基本は作品からのモチーフだと聞きました。もうひとつ、タイトルどおり「信じる」がテーマだとおっしゃっていました。

——今後のみなさんの活動、あるいは『Fate』で楽しみにしていることがあればお聞かせください。

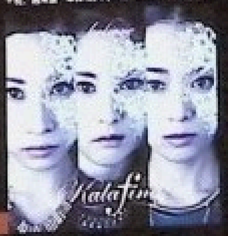
W 戦いのシーンをたっぷり見たいです。『Fate/Zero』制作でもとても迫力のあるシーンを観ることができたので、今回も期待しています！

H すでに放送されている分を拝見しているのですが、キャラクター、背景、音楽、声優さんの演技、すばらしいので、毎回次の回が楽しみでなりません！ 今後のストーリー展開とともに「believe」の聞こえ方にも変化が出てくると思うので、そちらも楽しみです。

K 聖杯戦争のアクションシーンは楽しみにしています。あの迫力は瞬きを忘れるくらい大好きです。作品から生まれた楽曲たちを来年の武道館でたくさんの方に届けたいと思います。

エンディングテーマ
**believe**

SME Records



# Kalafina







# 桜セイバー見参！

「桜セイバー」（コハエースEX）
2015年5月発売予定

# 池袋聖杯戦争開始



イベントの詳細は…… Fate 池袋聖杯戦争 で検索するのです！

## ミッションポイント

この「池袋聖杯戦争」ではアーチャーとセイバーの2つのシナリオが楽しめる。それぞれのサーヴァントを目指して池袋を歩こう！



セイバーサイド　アーチャーサイド

# Fate/hollow ataraxia

●11月27日発売。限定版9000円＋税、通常版6000円＋税、DL版5000円＋税。角川ゲームス　ジャンル＝伝奇ヴィジュアルノベル　ハード＝PS Vita

©TYPE-MOON・KADOKAWA



←ufotableによる完全新作ムービーが2本収録されている

# 危険だからこそ魅力を感じる

アヴェンジャー役 寺島拓篤

## 繰り返される聖杯戦争後の4日間

さあ、聖杯戦争を続けよう。いよいよ『Fate/hollow ataraxia』（以下、『ホロウ』）のPlayStation Vita版が発売になる。これは第五次聖杯戦争のその後のエピソードを描いたゲーム。今回の新バージョンではキャラクターのセリフのフルボイス化がなされ、ufotableによる完全新作ムービーがつくなど、新たなつくり込みがなされている。この『ホロウ』に登場する主要キャラクターがアヴェンジャー。この重要な役どころを演じる寺島拓篤は、昔っからの『Fate』シリーズのファンだった。

「僕が最初にプレイした『Fate』シリーズは、PS2の『Fate/stay night [Realta Nua]』でした。友達に勧められたのですが、プレイを始めたらグイグイ引き込まれて。物語や設定の組み立てにも楽しさを感じましたし、奈須さんの知識の深さと文章に説得力があって、現実のどこかにこの事件が起きているんじゃないかなと思わせるほどの迫力がありました。そのころはまさか自分が『Fate』シリーズにかかわるとは思ってもいませんでしたね。その後のスピンオフ作品『フェイト/タイガーころしあむ』でアヴェンジャー役を演じたんですが、そのオーディションのときにすでに『ホロウ』のアヴェンジャーのセリフを読んでいたんです。あのセリフはいつ言えるのだろうと待っていました」

アヴェンジャーは新たなサーヴァント。その正体は謎に包まれている。

「アヴェンジャーは得体が知れないキャラクターで、本心は何を考えているのかわからないキャラクターです。人を食ったようなところもありながら、バゼットへの優しさも併せもっている。人は危険なものにひかれるときがありますよね。アヴェンジャーは危ないからこそ魅力的なキャラクターなんです」

『ホロウ』は繰り返される4日間の中で戦い続ける魔術師バゼットとアヴェンジャーの姿が描かれる。はたして彼らはどんな結末にたどり着くのか——。

「マスターのバゼットとサーヴァントのアヴェンジャーはかみ合っているようでかみ合っていないいびつな関係になっています。皆さんはきっとバゼットに感情移入してこのゲームを楽しむと思うのですが、何度もプレイすることで違った視点が見えてくる。プレイヤーの頭の中で完成する物語なんです。奈須きのこさんは、どうやってこれほどの物語をつくり上げたのか。そのすごさを味わえる作品なのでぜひ楽しんでほしいと思っています」

●てらしま・たくま／12月20日生まれ。B型。石川県出身。アクセルワン所属。代表作に「うたの☆プリンスさまっ♪」一十木音也など

## 衛宮士郎役 杉山紀彰コメント

第五次聖杯戦争がひと段落した後が舞台となり、マスターとサーヴァントたちの日常が描かれている作品です。そのキャラクターの掘り下げ方がとても印象的でしたね。『Fate/stay night』ではクールでカッコいいイメージのキャスターが、初々しい新妻キャラとして出てきたり、カッコよく戦っていたランサーが釣りをしていて子供たちといっしょにいたり。第五次聖杯戦争の後日談としてだけでなく、日常のゆる〜い魅力も満載です。



↑こちらはホロウに搭載される、完全新作エクストラゲーム「カプセルさーばんと」のシロウ。正義感に燃える小学4年生！